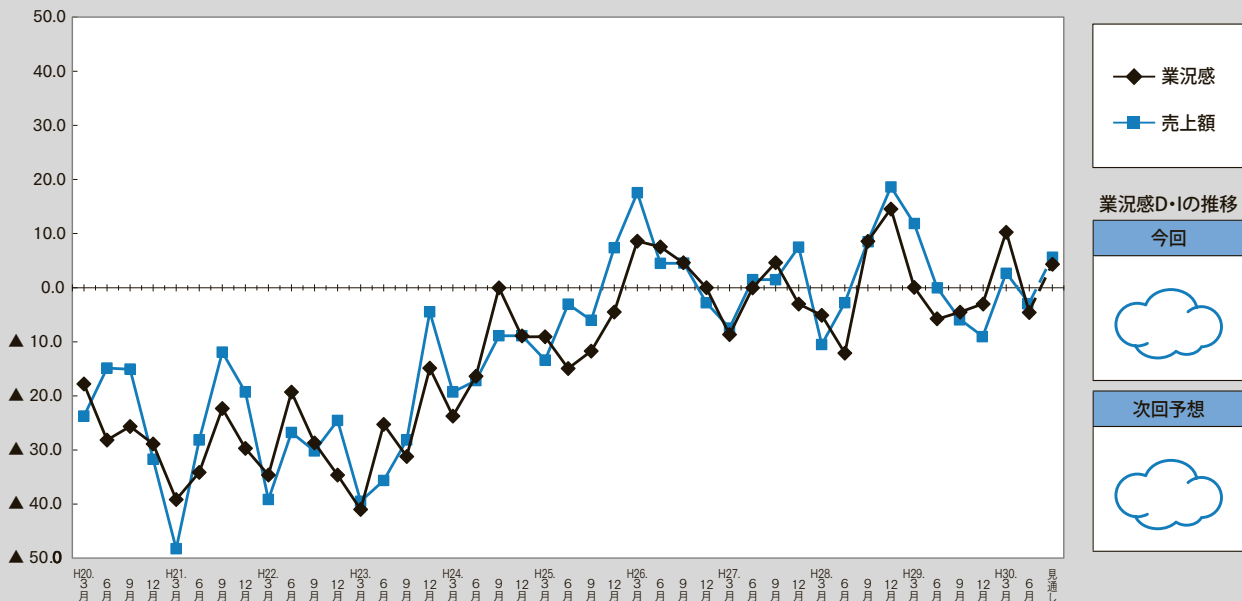


サービス業

Service industry

業況感悪化

D・I 推移グラフ(サービス業)



1 今期 (平成30年4 - 6月期)

今期の業況感は▲4.4(前期10.3)となり、前期と比較し14.7ポイント悪化した。前期、4期ぶりにプラスとなったD I 値は再びマイナスとなった。売上、収益、料金価格は下降し悪化。材料価格は前期と比較すればやや改善したものの、上昇傾向にあり、資金繰りも悪化し厳しい業況がうかがえる。人手、設備も不足感が増している。

2 来期の予想 (平成30年7 - 9月期)

来期の業況感は4.4となり、D I 値はプラスに転じ、回復が見込まれている。売上額、収益も改善し、料金価格もマイナスながら上昇傾向であり、資金繰りもマイナスながら改善が見込まれている。一方で、人手の不足感は増す見込みである。

DI値の推移 (過去1年と3ヶ月後の予想)

	H29.6月期	H29.9月期	H29.12月期	H30.3月期	H30.6月期	来期見込み
業況感	▲ 5.9	▲ 4.4	▲ 3.0	10.3	▲ 4.4	4.4
売上額	0.0	▲ 5.9	▲ 9.0	2.9	▲ 2.9	5.9
収益	0.0	▲ 1.5	▲ 3.0	0.0	▲ 2.9	2.9
料金価格	0.0	4.4	4.5	5.9	▲ 5.9	▲ 1.5
材料価格	▲ 4.5	▲ 2.9	▲ 7.5	▲ 4.4	▲ 2.9	▲ 4.5
在庫	-	-	-	-	-	-
資金繰り	▲ 11.8	▲ 11.8	▲ 10.4	▲ 7.4	▲ 13.2	▲ 10.3
人手	8.8	1.5	17.9	11.8	19.4	22.4
設備状況	9.0	11.8	11.9	11.8	14.9	13.8

業況調査メモ

NHK大河ドラマ「西郷どん」の放送開始から約半年が経った。鹿児島市城山町の西郷銅像前では、観光客がひっきりなしに訪れて記念撮影するなど効果が表れている。肝心の視聴率は、関東の10%台は気になるものの、県内は毎回30%台を維持し、36%を記録したことも。BS放送も普段は2~3%だが、「西郷どん」は10%台だという。そんな中、ドラマのロケが行われた霧島市福山町の狐ヶ丘高原近くの物産館では、スタッフに出したという「ロケ弁」を販売している。館内の他の弁当より少し高め580円だが、話題性が付加価値を生んでいる。